

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年08月06日

計画の名称	市民が誇りを持って暮らせるまちなか居住の推進												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	福知山市												
計画の目標	城下町福知山の歴史の息吹を感じることのできる一体的な街なみ環境整備に向けて、整備計画の策定を行い、歴史的街なみと調和した外観への修景助成、街なみに合った道路の美装化や街灯、サインの設置など、「市民が自分たちの町に誇りを持って暮らすことができ、市外からも訪れたいまち」づくりの実現を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	440	A	439	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.22	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成27年		平成32年
1	外観修景、道路美装化等による街なみ整備により、まちなかの回遊を促進し、街なみ環境促進区域の南北をつなぐ施設[福知山城(郷土資料館)・佐藤太清記念美術館~治水記念館]の年間入館者合計について、5年間で約1割の増加を目標とする。 福知山城(郷土資料館)、佐藤太清記念美術館、治水記念館の年間(1/1~12/31)合計入館者数を測定	49360人/年	人/年	54296人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	福知山市	直接	福知山市	-	-	街なみ環境整備事業(内記・広小路・長町・菱屋町・下柳地区)	道路美化化、電線類地中化、街灯整備、街なみサイン事業	福知山市						433	-	
	A16-002	住宅	一般	福知山市	間接	民間	-	-	街なみ環境整備事業(内記・広小路・長町・菱屋町・下柳・駅正面周辺地区)	ファサード整備	福知山市						6	-	
											小計						439		
											合計						439		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	福知山市	間接	民間	-	-	まちなか居住応援事業	中心市街地に住宅を新築又は新築物件を購入した者に登記手数料等の補助を行う。（移住者に限る。）	福知山市						1	-	
	地域の意見を反映し、地域と連携した効果的な中心市街地の再生を推進する。																		
	C16-002	住宅	一般	福知山市	間接	民間	-	-	空き家・空き店舗等ストックバンク	事業区域に特化して、ストックバンク登録者の契約成立時における仲介手数料の助成を行う。	福知山市						0	-	
	公共空間を有効に活用し、周辺商業施設と一体となったにぎわいを創出する。																		
											小計						1		
											合計						1		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	62	74	60	1	1
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	62	74	60	1	1
前年度からの繰越額 (d)	58	41	74	60	0
支払済額 (e)	79	41	74	61	1
翌年度繰越額 (f)	41	74	60	0	0
うち未契約繰越額(g)	10	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	8.33	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					